

政策名	第1章 地球と共生する快適環境のまち
施策名	4 下水道等の整備

主担当課	下水道課
関係課	

1. 施策の現状と課題

快適で住みよい居住環境づくりと河川等の公共用水域の水質保全を図るため、全国的に下水道等の整備が大きな課題となっています。
 特に愛媛県は、他の都道府県と比較して下水道等の整備が遅れており、早急な対応が求められています。
 本市では、平成19年度に見直された第二次愛媛県全域下水道化基本構想に基づいて整備区域や整備目標を定め、市街化区域などの家屋密集地を中心に公共下水道事業を、市街化調整区域のうち重信川左岸の集落を対象に農業集落排水事業を、その他の地区では小型合併処理浄化槽設置補助事業を、それぞれ経済性や地域性を勘案しながら計画的に実施しています。
 このうち、公共下水道事業は、全体計画に基づき認可計画を策定し、重信処理区と川内処理区の2地区において実施しています。農業集落排水事業は、拝志処理区と上林処理区との2地区において実施済みであり、維持管理の段階となっています。
 これら下水道等の整備は、多大な経費と長い年月を要しますが、豊かな自然環境の保全と快適な環境づくりに欠かせないものであり、さらなるコスト削減をはじめ、整備区域や整備手法、優先順位、整備速度、さらには適正な使用料などについて、全市的な視点から逐次再検討しながら、計画的に進めていくことが必要です。
 また、循環型のまちづくりの一環として、従来からの汚水処理に加え、良好な水循環の維持・回復、リサイクル社会構築への貢献など、下水道の多面的な役割の発揮に向けた取り組みを進めていくことも必要です。

2. 施策の基本方針

豊かな自然環境の保全と快適な居住環境の確保に向け、財政状況等を勘案して整備計画全般について逐次再検討しながら、生活排水対策事業を計画的に推進し、整備目標の達成に努めるとともに、環境行政をリードするまちとして、下水道の多面的な役割の発揮に向けた取り組みを進めます。

3. 施策の内容(主要施策名)

(1)公共下水道事業の推進	厳しい財政状況等を勘案し、コスト削減、整備区域、整備手法をはじめ、整備計画全般について全市的な視点から逐次再検討しながら、事業を計画的、効率的に推進します。
(2)農業集落排水施設の適正管理	農業集落排水事業実施済の地区において、施設の適正な維持管理に努めます。
(3)合併処理浄化槽の設置促進	公共下水道事業、農業集落排水事業の集合処理に適さない地区等において、合併処理浄化槽の設置を促進します。
(4)下水道等の普及促進	水環境の保全や水の循環利用の重要性等に関する広報・啓発活動の推進や学習機会の提供を図り、事業実施済地区における早期接続、合併処理浄化槽の普及を促進します。
(5)下水道事業の健全運営	施設の管理体制の充実や維持管理経費の節減、下水道等使用料の適正化を図り、下水道事業の健全運営に努めます。
(6)下水道の多面的役割の発揮に向けた取り組みの推進	下水道が、従来からの汚水処理に加え、良好な水環境の維持・回復、リサイクル社会構築への貢献等、新たな役割を求められていることを踏まえ、施設見学や学習機会の提供、情報提供等により意識の啓発・制度の周知を図りながら、下水処理水や下水道汚泥再生品の活用、不要となった浄化槽の雨水貯留施設への改造等を促進します。

4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
公共下水道の整備率 [全体計画区域のうち公共下水道の整備率]	%	目標値	41.44	55.21	70.75	計画的な事業の推進により、中間目標値を達成し、着実に成果が出ています。
		実績値	41.44	55.70	—	
下水道の普及率 [総人口のうち下水道を利用できる人口の割合(農業集落排水含む)]	%	目標値	47.39	59.61	67.74	整備区域の拡大により、中間目標値を達成し、着実に成果が出ています。
		実績値	47.39	62.23	—	
下水道の水洗化率 [整備区域における水洗化率(下水道・農業集落排水)]	%	目標値	85.61	89.63	92.08	下水道普及促進対策助成(補助金)制度の推進及び普及啓発により、概ね中間目標値を達成しています。
		実績値	85.61	89.44	—	
合併処理浄化槽設置基数 [合併処理浄化槽の延設置基数]	基	目標値	1,171	1,419	1,600	中間目標値を下回っており、不況等により設置申請が減少していることが要因と思われます。市では生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道認可区域以外の地域において、合併処理浄化槽の設置費用に対し補助金制度を設け、水洗化を推進しています。
		実績値	1,171	1,377	—	

5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
<p>下水道は、国民の健康、安全を確保するとともに、良好な水環境の回復、保全のため「国が国民に保証する必要最低限の生活水準を確保するための重要な社会基盤施設」いわゆる、ナショナルミニマムとして位置づけられており、国民にとって必要不可欠な社会資本といえます。</p> <p>本市では、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を目的として、下水道事業を鋭意進めています。しかし、下水道事業は、多額の費用と長い年月を要します。</p> <p>今後においては、限られた予算の中で効果的かつ効率的な整備を進めていくとともに、さらなるコスト削減を始め、整備区域や整備手法、優先順位等について再検討し、さらには、下水道使用料と合併処理浄化槽との維持管理費の負担の均衡を図りながら、平成27年度までには下水道事業の全体計画見直しを行っていく必要があります。</p>	<p>快適な市民生活が送れるよう、効果的・効率的な事業の実施に努めてください。</p> <p>下水道区域外の合併浄化槽による生活排水対策とバランスをとりながら進めてください。</p>	<p>下水道事業は、市民にとって必要不可欠な事業の一つです。市の財政状況をみながら、実施してください。</p> <p>また、市民に事業について理解が得られるように、説明責任を果すようにしてください。</p>

6. 施策実現のための事務事業評価結果

番号		事務事業名	事業費(直接+人件費)千円		課名	総合評価		今後の方向性	
課	事務事業		平成22年度	平成23年度		一次	二次	一次	二次
016	1001	公共下水道整備事業	487,018	501,779	下水道課	A	A	現状維持	縮小
016	3001	集排施設維持管理事業	34,896	47,649	下水道課	A	A	現状維持	方法改善
016	3003	集落排水使用料及び分担金徴収事務	1,116	1,111	下水道課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
016	3004	集落排水の排水設備及び水洗便所改造 関連事務	196	192	下水道課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
016	3005	公共下水道排水設備及び水洗便所改造 関連事務	5,774	5,662	下水道課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
016	3009	公共下水道使用料、賦課徴収及び負担金 関連事務	16,961	15,684	下水道課	A	A	拡大・充実	拡大・充実
016	3020	公共下水道施設維持管理事業	133,345	154,471	下水道課	A	A	現状維持	拡大・充実
合計			679,306	726,548					